

平成25年7月19日
JR東日本秋田支社

奥羽本線神宮寺～峰吉川間における 防雪柵新設について

JR 秋田支社では、冬季間の列車の安全・安定輸送を確保するため、奥羽本線神宮寺～峰吉川間に吹き溜まりを防ぐ防雪柵を、年内使用開始を目標に設置します。

当社では、平成25年3月に発生した列車脱線事故の重要性に鑑み社内にて部外専門家を交えた委員会を設置し、脱線状況の調査と再発防止に向けた検討を行っております。本工事は、検討を行った対策のひとつであり、その他の対策についても今後とりまとめてまいります。

1. 防雪柵設置区間

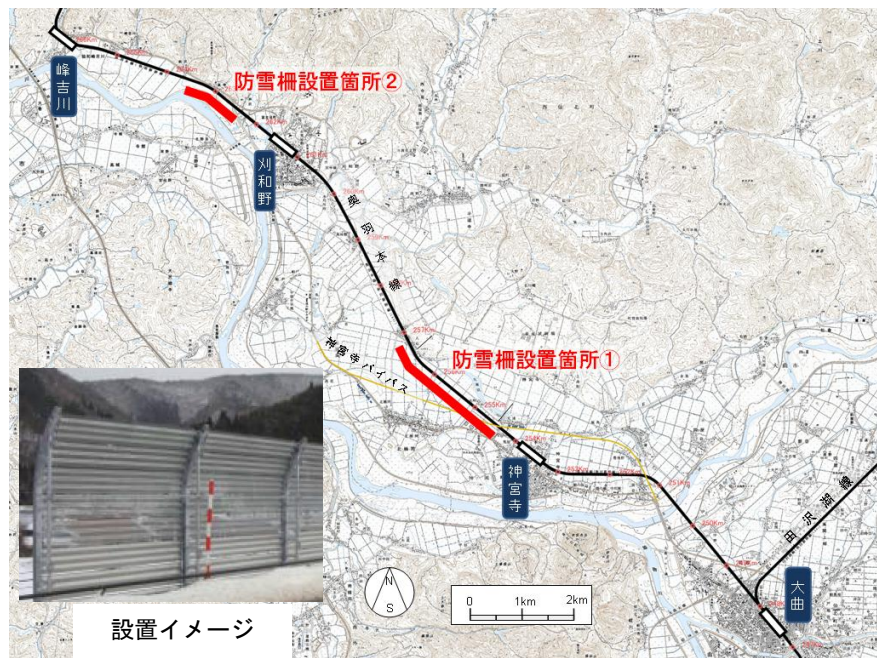
- 奥羽本線 ① 神宮寺・刈和野間（大仙市神宮寺 約2,300mにわたる区間）
② 刈和野・峰吉川間（大仙市協和 約600mにわたる区間）

2. 工事期間

- 平成25年8月から平成25年12月
（作業ヤード撤去作業等の一部工事については、平成26年3月まで実施予定です）

3. 防雪柵構造等

- 高さ : 設置地面より約4m
その他 : 夏季には収納可能な構造



※この地図は国土地理院発行の電子地形図 25,000 を使用

※運輸安全委員会の調査結果が発表され、新たな対策が必要となった場合には対応してまいります。